

医療の仕事 体験してみよう

この夏、医師や看護師になりきってみませんか？ 川崎医大は8月に開く「かわさき夏の子ども体験教室」の参加者を募っている。小中学生が実際の器具を使って医師など医療に関わる仕事を体験する。今回が10回目になる人気イベントだ。

コースは①災害救助体験（20人）②外科医体験（同）③看護師体験（10人）④病院のお仕事図鑑作り（30人）⑤近視を学ぶ（20人）——の五つ。

①～③は小学5年生～中学3年生、④と⑤は小学1～4年生が対象だ。全て大学内の施設を使い、医師や看護師らが指導する。

川崎医大病院を基地にしている県のドクターヘリや現代医学教育博物館などの見学や、ベテラン外科医やフライトナースの講演もある。最後まで参加すると修了証書がもらえる。

8月20・21日
川崎医大、小中学生の参加募集



これまでの「外科医体験」の様子＝倉敷市松島

8月20、21日午前9時～午後3時15分、倉敷市松島、川崎医大で。無料。2日とも同じ内容で、定員は各日100人。参加する子1人に付き添い1人が必要（託児あり）。

6月25日までに、ホームページ（<https://k.kawasaki-m.ac.jp>）の応募フォームで申し込む。多数の場合抽選。問い合わせは川崎学園（086・462・1111、平日午前10時～午後4時、土曜午前9時～正午）へ。（中村通子）